

大竹中学校だより

-いのち輝く学校-

令和4年2月14日(火)

第39号

大竹市立大竹中学校

校長 十亀 琢磨



〒739-0614 広島県大竹市白石一丁目 8-1

☎(0827)52-5177 Fax(0827)52-5178

【HP】members.fch.ne.jp/otakejhs/



☆☆「大竹中学校だより」カラー版は、大竹中学校ホームページでご覧いただけます。☆☆

後期学校評価アンケートの結果をお知らせします その1

12月に前期の学校評価アンケートを実施しました。保護者の皆様にはお忙しい中アンケートのご回答にご協力くださり、どうもありがとうございました。

アンケートは生徒、教職員にも行い、結果を集約して分析し、成果と課題を整理して、課題を解決するための改善策について教職員でその内容を共有して取組を進めているところです。今後、学校関係者評価委員会を開催し、1年間の取組や今後の改善策についてご示唆をいただく予定です。

アンケート結果をもとに学校の課題を明確にして、それを改善していくことを通して生徒に確かな学力をつけ、保護者や地域の皆様に信頼され貢献できる学校をめざしてまいります。

【生徒アンケートの結果】	(%)							
	R1 前期	R1 後期	R2 前期	R2 後期	R3 前期	R3 後期	R4 前期	R4 後期
授業はわかりやすい	81.2	82.3	88.6	87.8	83.2	83.0	82.9	86.9
1月におよそ何冊の本を読みますか？→※「0」と回答した生徒の割合	4.6	4.6	8.6	7.6	12.0	11.2	15.0	19.9
平日は家庭学習を何時間くらいしていますか？(塾を除く平均学習時間)→※「0」と回答した生徒の割合	9.9	8.9	2.6	3.0	4.0	5.4	8.2	11.6
土・日(休日)は家庭学習を何時間くらいしていますか？→※「0」と回答した生徒の割合	2.0	3.9	5.6	4.9	9.4	5.4	12.9	15.6
着ベルができています	99.7	99.0	99.6	98.6	98.6	97.5	95.0	95.7
忘れ物は少ない	86.8	84.9	87.5	88.1	86.3	88.5	81.1	83.0
授業で発表・発言する	74.2	73.2	71.9	72.3	69.7	71.2	66.8	63.4
授業で「めあて」に対しての「振り返り」をしている。	82.2	83.8	69.4	80.6	82.3	82.4	87.5	86.2
友達の発表や発言を聞くことで、理解できたり、考えが深まったりすることがある。	88.5	89.7	92.2	90.6	88.4	91.0	87.1	89.1
授業で先生からほめられることがある	62.0	59.1	60.1	55.0	57.0	59.0	60.0	62.7
朝読書は、10分間集中して本を読んでいる。	94.1	90.7	84.6	87.4	87.0	89.6	81.8	83.3
ユニティ・プロジェクト(生徒会各委員会の取組)を頑張っている。	87.8	85.9	79.4	76.6	76.9	81.3	72.9	76.1
授業等で、根拠や理由を明確にして説明しようとしている。	70.3	73.1	73.7	71.2	70.4	70.9	66.8	67.0
パソコンやタブレットを活用することで、意欲的に授業に取り組める。					90.6	95.3	85.0	82.1
授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分で取り組んだ。							84.3	77.2
総合的な学習の時間を通して、大竹市のよい所や課題に気づくことができた。							82.1	89.1
総合的な学習の時間を通して、自分の考えを深めることができた。							90.0	88.4
総合的な学習の時間を通して、他の人の考えから学ぶことがあった。							91.4	88.4
総合的な学習の時間の中で、タブレットを効果的に活用することができた。							89.3	92.4
総合的な学習の時間を通して、自分が誰かの役に立っていると感じることができた。							71.4	65.9
仲間のことを気にかけて、お互いを大切にしている	95.5	96.2	94.0	95.7	90.6	95.3	88.6	92.0
部活動に積極的に参加し、体力や技術だけでなく心も磨いている	86.8	88.2	92.2	91.0	88.8	82.7	80.7	77.2
掃除を頑張っている	96.2	98.3	97.2	96.8	95.7	97.8	94.3	93.1
大竹中学校では、暴力やいじめなどの問題行動は少ない	98.3	97.3	96.4	96.8	95.3	97.5	93.9	97.5
大竹中学校では、遅刻者は少ない	96.2	96.2	97.2	94.2	91.7	93.2	89.6	91.3
あいさつがしっかりできる。	89.5	89.0	85.4	88.1	81.9	83.1	77.5	79.0
行事や学級活動に一生懸命参加して充実感を感じている	90.6	91.0	86.5	87.4	81.9	86.0	82.9	85.1
悩みがあったり困ったりした時に相談する先生がいる	78.0	74.6	76.2	73.0	68.6	66.5	68.6	72.1
自分はまわりの人の役に立つことがある。	71.8	70.4	70.8	72.3	66.4	65.8	63.2	64.9
自分は学校で、先生や先輩・友だち・後輩からほめられることがある。	76.0	76.6	72.6	74.1	72.6	70.5	70.0	72.8
体育の授業や部活動でしっかり運動している	93.0	91.4	92.5	91.0	84.5	85.6	83.9	81.9
道徳の授業や避難訓練、犯罪防止教室、生命尊重の取組等で命の大切さを学んでいる	96.2	96.2	95.7	97.1	95.7	98.6	94.3	93.8
毎朝朝食を食べている	94.8	94.8	91.1	91.7	89.5	91.0	86.1	87.3
学校の施設や道具を大切にしている	98.3	98.3	98.9	98.2	97.1	99.3	98.2	98.2
学校生活に満足している	87.5	84.9	86.5	87.1	77.3	83.8	79.3	84.1

【アンケート結果から見る成果と課題】

(1) 成果

○「授業はわかりやすい」と答えた生徒は、前期より4%伸びており、昨年度よりも肯定的な回答が増えています。学校全体で「リフレクションシート」の改善に取り組んだこと、授業におけるタブレットの活用が定着してきたことの成果と考えられます。「総合的な学習の時間の中で、タブレットを効果的に活用することができた」と感じている生徒は92.4%で、総合的な学習の時間においては。タブレットを活用することで、探究的な学習の充実が図られたと思われます。

○学校生活への満足度は84.1%で、前期より4.8%伸びており、昨年度と比べると改善の傾向にあります。11月の実施した文化祭では他の学年の発表を見ることもでき、学級で力を合わせて一つのことに取り組んだことで、生徒が満足感や達成感を感じられたのではないかと考えています。また、日々の生活においても、目的を持ちやりがいを感じて過ごしている生徒が多いように感じています。

(2) 課題

○家庭学習が0時間の生徒は平日が11.6%、土日が15.6%となっています。今年度は「生活ノートやりきり週間」に取り組み、また、定期試験の時は計画表を使用して、家庭学習を充実させる指導を行いました。家庭学習の定着という段階には至っていないと捉えています。

○「授業で発表・発言する」と答えた生徒の割合は63.4%で前期を3.4%下回り、ここ数年間で最も低い数値となっています。授業の様子を見た時、発表する生徒が特定の生徒に決まっている印象を受けます。授業で安心して発表・発言できる環境づくりにも取り組んでいく必要があります。

○「掃除を頑張っている」については93.1%、「あいさつがしっかりできる」については79.0%でした。掃除については90%を超えていますが、前期より1.2%下がっており、ここ4年間では最も低い数値となっています。あいさつについては、79.0%で前期より、1.5%伸びたものの、やはり、ここ4年間と比べると数値は下がっています。「やりきり清掃」や「いちがんあいさつ」は大竹中の伝統であり、それが風化していくことのないよう生徒の意識を向上させていきたいと考えています。

【今後に向けての改善策】

35項目中、20項目が前期の数値を上回りました。前期の成果と課題を踏まえ、改善に取り組み、それが成果として表れたものもありますが、取組が十分でなかった点や新たな課題も見えてきました。今回の結果に満足せず、教職員全体で課題を共有し、次のように改善を図っていきたくと考えています。

◇家庭学習の時間ゼロを目指し、1月には「生活ノートやりきり週間」を実施したところ、1、2学期よりも改善が見られた学級もありました。また、1、2年生は2月から「家庭学習頑張りスタンプラリー」に取り組んでいます。まだ成果があるかどうかはわかりませんが、今回の取組を振り返り、次年度さらによりよいものにしていきたくと考えています。

◇授業で、どの生徒にも、発表・発言の場を与え、生徒の発表や発言への意欲を向上させるよう、継続して授業改善に取り組んでいきます。

◇2月から掃除リーダー2年生となり、2年生の掃除への意識が少しずつ変わってきています。縦割り清掃では上級生の姿が下級生に大きな影響を与えます。この縦割り清掃の良さが生かされるように指導を行い、あいさつについては、授業やSHRの前のあいさつが声が小さかったらやり直しをするなどして、大竹中の伝統をよりよいものして継承していこうという生徒の意識を向上させていきたくと考えています。学校評価アンケート結果をまとめて冊子にしたものは、全教職員（非常勤講師も含む）に配付して、課題を共有し、必要に応じて管理職が指導をしています。（保護者アンケートの結果については後日お知らせします。）